

デスレス
2
Rikudou Koushi
六道神士
DEATHLESS
YOUNG KING COMICS


このあたりだったりするのです♪
何が？
言ったであろ
カマドには死の臭いが判ると
死？
ぼうし……
この…
帽子…


第九話
戻るひと
これ……
なに？


喰い掛けとは下品な…
舐められたものだな
……違う
ドクン
これでは食べられないのでございました
カマド！そのような場合ではない
そんな場合じゃ…ない…
気をつけい！敵が近くに潜んでおるやもしれぬのだぞ
「てき」であるますか？
吾らの同類だ
先日喧嘩を売ってきおった
ミズキ殿代わって――
ともだちだよ？



ミズキ殿？
食べ物じゃなくて——
松川だもん
ズザ
襲われたの？
死んでるの？
なんとか……
なんとかなるんだよね！
あの…
えーとです…


どうする気だ
ミズキ殿
助けるの！
できるんだよね⁉
いや
ミズキ殿は
喰らい方も
まだ…
キッ
松川は！
食べものじゃないもん！


あたし 莫迦だ
人の食べ方なんて 教わって…
誰を食べる つもりで…
……こういう事 なのに！
ウォン…
おう…？
ギリッ
ヒュ…


時が――
今し方まで喰うのもおぼつかぬ態であったのに――
戻る!
だがこれはまずい…
わかったミズキ殿交代しやれ!
見境無く戻してはこちらの時が尽きて消えてしまうぞ!
松川が死ぬ
あたしが消える…
嫌
どっちも嫌だ!
カマド!離れよ!
はえ?




な・・・
ピク・・
ファッ
ファッ
ファ・・・
あれ？
なんだぁ？
松川（マツ）！


あれ？スーちゃんじゃん
刺激的なカッコしてんなー
元から小柄ではあったが……少々小さすぎぬか？
あれ？私どうし……
私も刺激的じゃん！
何がどーなってんだよ！



うお？
帽子がねえ！
帽子はどこだ！
アワ アワ
他にも色々と突っ込み所はあるが…ミズキ殿
ここは落ち着いて仕切り直した方がよいのではないか？
ハア・・・
巻き込んだかたちでバレたのは最悪だね
ま 仕方ないんじゃない？
隠しおおせるもんでもないさ
どこまでバラすの？
あの子は誤魔化すのヘタだからね


ゼェ
ゼェ
ゼェ
ゼェ
ゼェ
おーおー
ガタッ
こーの
変質者キラーな
ぷりちーぷりは…
10歳ってとこか?


なんつーか ミズキも おもろい事に なってんねー
まー私も 一回死んだとか 冗談臭いけどさー
冗談でロリっ子に なんないわな
何も全て 説明することは なかったのでは ないか?
全部 話すつもりなんか なかったもん…
私に 隠し事なんか 10年早いね
ワキャ ワキャ ワキャ ワキャ
確かに 水際立った 尋問ぶりでは あった
尋問とかじゃ ない…
何? 今 スーちゃんと 話してんの?
代われるんだろ? 代わってみ?
スー…
……
ミズキ殿 代わって もらえるか
え?
…うん 許す


この形では初めて
お目にかかる
スザクと申…
ヒュ…
ズ
なーんだ
まともじゃん
まともとは？


ミズキに聞いた限りじゃ私のことなんか明日捌かれる鳥や豚を見るよーな目で見るのかと思った
うわ…
言いたい事を言う御仁だ
松川小鳥だ「マツ」でいいよ
てゆーか名前禁止ー
ふむ…松川殿 別に時を喰う事と人と関わる事は矛盾せぬよ
おー妖怪っぽい！かっけー！！
そのような事が聞きたかったのか？
いんにゃ
フル フル
スーちゃんは私を襲ったヤツの事知ってんのか？
先程ミズキ殿も話したとおり先日の襲撃が初対面だ


私も
気がついたら…って
何も見てねーしなー
わかんねーな
なんで私が
襲われたんだ?
スーちゃんと
人違いするほど
見た目似てねーし
ハゥ…
ごめ…
チッ
あミズキ
勘違いすんな!
巻き込まれたとか
思ってねーよ
気の回る…
ただ襲われた
理由も
わかんねーって
ハラ立つしな
テキトーに殺して
家の前にポイだぜ?
意味わかんね
スーちゃんたち
狙ってんなら
攫って取引材料に
するとかさ
ウゥ
なんでそんなこと
冷静に考えられるの
フツーなら
これって
脅しだよな
でも
私 助かってっし…
なー
様子見されたんじゃ
ねーのか?
様子見?…
身内や知り合いが
襲われたら
・・・どーすんのか
見られたんじゃ
ねーかってコト


私を助けんのって
結構負担
だったんだろ?
ヘタすっと消耗戦
吹っかけられんじゃ
ねーのか?
消耗戦?
敵さんここに
入ってこれないって
言ってたじゃん
籠城には
兵糧攻めが
基本だろ?
まー敵が
見境のないバカって
センもあるけどさ
ホゥ・・
いや
成る程・・・
ある意味・・・
吾らには無い・・
発想だ
ミズキ殿には
過ぎた学友だな
どういう事?


吾らと関わる人々が見境無く襲われる可能性があると言っておる
なんで!?
目前の被害者に対してミズキ殿がどうするか敵に知られたからだ
そんな！だって…
ミズキ殿は敵の餌に食いついてしまった
餌とか！ああするしかなかったじゃない！
責めておるわけではない
だがミズキ殿に選択肢が無い時点で敵の策略は有効なのだ
敵の目的が何かはわからぬが吾らが狙われておるのは確かな事
ビクッ
そして敵も同類の力を削ぐにはどうすればよいか判っておるのだろう
現に吾は己を維持するのも危うい有様だ


暫くここにゃ近づけねえか
しゃあねえな
スック。。
え……
あー・・・ミズキか
大変っぽいけど頑張ってどーにかしな
私も大町も暫く関わらねーよ


あ…うん…
ごめん…
謝んなくていいからさ
とりあえずこのカラダ
元に戻してくんない？
できんだろ？
うん…
あたしじゃ
上手く
できないから…
スザク…
お願い…
おひょひょひょ
ギクッ!!


ブルブルッ
おーわー
す…スゲェ…
ゼッ
クセになったら
どーすんだアレ
あ
バーちゃん
悪いけど
タクシー呼んで
くんねーすか
?
ああ
……
悪かったね
ぜーんぜん
そっちこそ
大変すね
ドス
でもないさ
あれがミズキだって
信じてくれて
ありがとうよ


あんなヘタレ
滅多に
いねーし
ツーーー
ふむ……
面白い
学友だの
縁切られちゃった
あたしのせいで…
巻き込んで…
迷惑かけて…
ポト
ポッ
もう関わりたく
ないって…
まあ死ぬのは
ともかく
生き返るのは
珍しい体験で
あろうな
はて…
何をどのように
すれば
そう聞こえたのだ

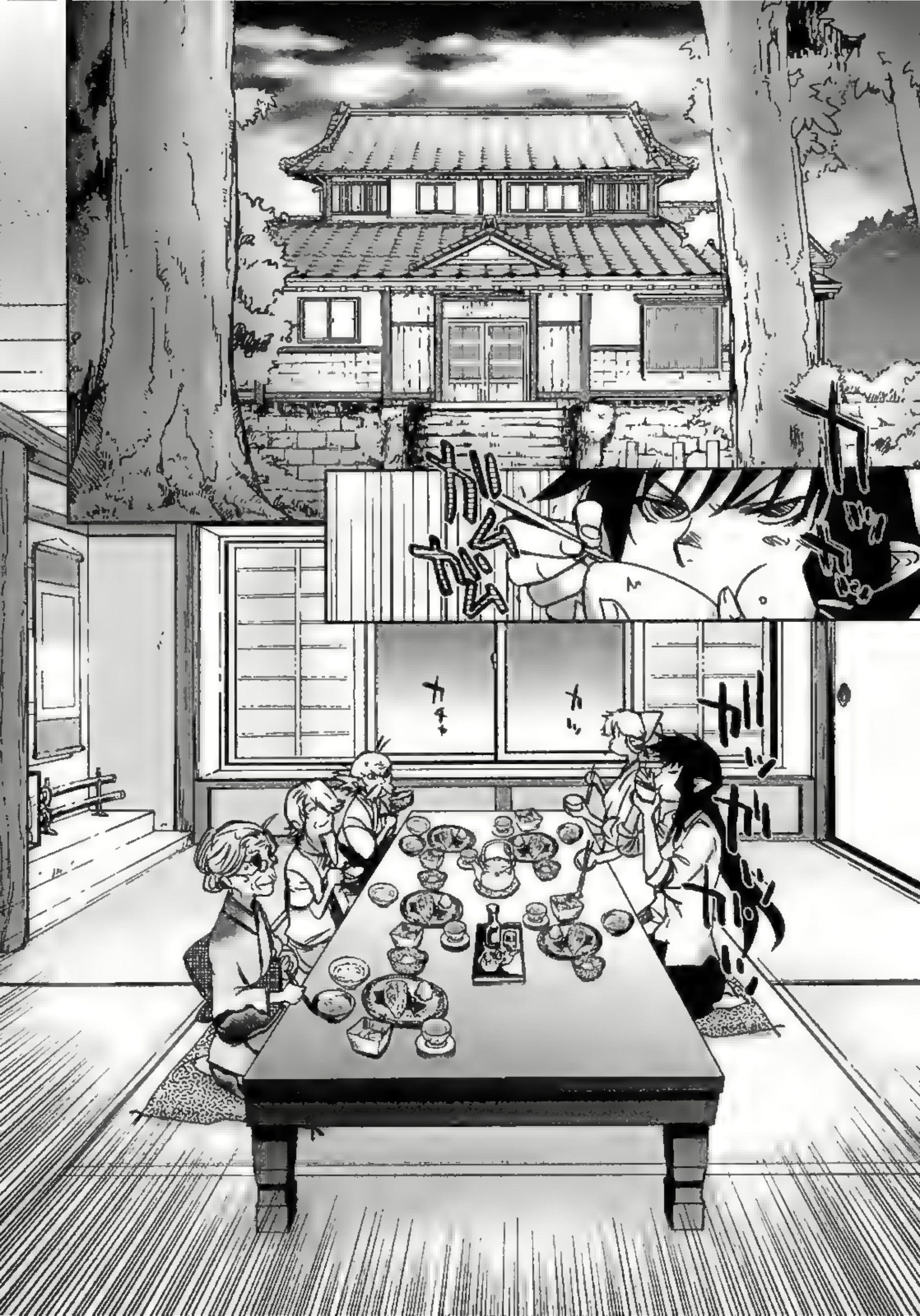

だってあたし人間じゃなくなったりしてるし…
ガバッ
そうだ松川殿は只人として冷静な状況判断をしたのだ
足手まといにならぬよう避難すると言うたのではないのか？
ミズーキ！
カラッ
出席はなんとか誤魔化しとくからカタがついたら学校に来な！



ミズキ殿の周りには過ぎた者が多いの
ねえスザク
あたし大事な事忘れてた…
ハッ
何をだ
友達を酷い目に遭わせたヤツにムカつくのを忘れてた
これ…怒っていいとこだよね
無論だ

第九話／完


第十話
逢うひと


カチャ
カッ


おかわり！
はいでいす
おう…
ハラの座った
いい眼じゃ
ウズ
ウズ
戦か！
闘いじゃな！
加勢は任せと……
パチ侍は
引っ込んでな



アタシたちがウロついてもミズキの足引っ張るだけさ
まあ…吾とミズキ殿で対処する他ないのは確かじゃな
カマドさんは？
当てにしておったのか？
あやつに諍いはムリだ闘争の心を持っておらん
そのかわりカマドには時を分けてもらうがな
カマドさんの時の貯金ってどれくらいあるの？
さて…目に見えるものでもなし…この阿呆も無駄遣いが多いからの
アテに出来るほど残っておるとも思えぬ
ミズキ殿がそこらで調達できればよいのだがな
却下！
そういうスザクも全然貯めてないいんじゃない
仕方なかろう吾はさほど時を貯める事なぞできぬのだ
…できないの？
……なるほどね
ミズキスザクさんに変わっとくれ


なんだ ミカサ殿
今までスザクさんの同類が何人もいたとかそういうことはなかったんだね？
うむ… どう思い返しても此度の遭遇は吾も初めての事だ
じゃあ「違う」んじゃない？
…「違う」とは？
キミらが「種族」とか「種類」とかそういうんじゃなくてさ
キミとカマドちゃんも似てるだけで別のなにかかもしれないって事
今回の敵も同じものじゃないかもってこと？
…確かに似たようなモノと決めてかかっておったが…
ふむ……


違うモノ…
か…
え？
なに？
いや…
腑に落ちたというやつだ…
ねえ…適当にうろついてて大丈夫かな…
理由はわからぬがどうもあちらは急いでおるようだ
先の件は吾らをいぶり出すための挑発も兼ねておったように思う
まんまとおびき出された吾らを見逃しはせぬであろ
どう…なるのかな
さて……吾も同類と闘ったことなぞない
まあ…喰らい合いになるであろうな


勝てる？
というか
結局吾が
闘うのか？
莫迦莫迦しい…
あまり吾を
当てにするな
多少カマドに時を
分けてもろうたが…
対等かどうかは
わからぬ
負けたら…
どうなるの？
昼間の威勢は
どこへいった
怖じ気づいたか？
勝つの・・・
負けるのと・・・
今となっては
些細な事だ
まったく…
とんでもないのに
捕まったものだ


ゴ
ぬしにはこの気分がわかるか？
それとも吾とは全し別物なのかえ？
いるの？もしかしているの？
無口な性らしいの
…頑張って！
やれ……他人事ではないのだが——
ス…


ヒュッ
喰われた!?
相打ちだ
ぬしよ 思惑通り 誘われて やったのだ
仮面は 無粋ぞ
オオ
今宵 吾らはいずれかは 消え去ろう
名前くらいは 残そうではないか
オオ


…不空(フクウ)
朱雀(スザク)だ
子供!?
惑(まど)うな
見た目では
わからぬ


わあ
例のゆっくりになるやつ!
やった!
いや浅い
途中であちらも加速してきおった
これは…
厄介だの
が…ガンバレー!


ゼェ
ゼェ
むう…
──ここまでか…
早っ！
こっちから
ぜんぜん
攻めてない
じゃない！
うむ…こちらに
著しく不利な点が
ひとつあってのう
吾は痛いのが
苦手なのだ
ガマンしてー！
勝手だのう
くっ！
お手上げだ
あとは任せたぞ
え!?



ええええええ？
ちょ…待っ！
痛あっ！
うむ
痛いであろ
ほれ
やり返して
やれい
スザクが
勝てない相手に
どうしろって
いうのよ！


まあ勝負にはなるまいな
そんな…
格が違いすぎる・・・・・・
何をしておる
ミズキ殿が負ければ相手は喰い放題なのだぞ
カマドはアテにならぬし
御祖父母殿らも松川殿らも抗う術はなかろうな
な…
吾らもここで消えて…
彼岸に地平があればそこへ逝くのだろう


悔しくば一矢報いてはどうだ
あ…
あ
やれ…
気の毒にの



不空とやら
?!!
あッ…
ドプッ
ぬしも吾も
とんでもないのに
関わったものよ
あッ
あッ
あの時――
ミズキ殿は
松川殿に
時を戻す為に
人以外から――
森羅万象から
時を喰った


ぬしも吾もどうやら人の時を喰らうだけのもの
たかだか人の天敵にすぎぬ
ズブッ
この世の全てを喰らうような━
怪物に・・勝てる道理なぞないわ
勝負などと莫迦莫迦しい…
格が違う・・・
だめッ
あああ


ほれ
ミズキ殿の勝ちだ
吾を当てにする必要などないと言うたであろう まったく
な…
あたし… 何を…？
ヒヤ
ヒヤ
喰うというより丸呑みだの
えええええええ
おそる
おそる
ゴクリ…
い……
いるの？
中に
おる
中に


すみの方で
放心しておる
もう
吾と同じで
何も出来ぬよ
そっか…
これでみんな
安全に…
同じ…？
ミズキ殿？
ゼェッ
ゼェッ
ゼェ
よかった…
変わってない
なんなのだ
スザクのとき
みたいに
また見た目が
変わったりしたら
ややこしいじゃない！
やっと
慣れたのに…
また
些末な事を
気にするのう
とにかく
ひとまずは
安心なのね…
うむ
吾も疲れた


パタン
W.C
今日はもう休んで明日…
W.C
はえてるぅ!!
おお…男児であったか
ミズキ帰ったのかい？
ミズキ！勝負はどうなったんじゃあ！
で生えたって何が！？

第十話／完


…ミズキ殿
ミズキ殿?
これ以上は危険であろ
ちと限界ではないか?
ポフ
吾もこのような危機感は初めてだ
非常に落ち着かぬ
ペン
ペン


第十一話
受け入れるひと
漏れてしまうぞ
い〜や〜〜ッ！


ザゴバー
W.C
カポポポ
…別に初めて見るモノでもなかろう
見た事ないもん！
家人の裸くらい目にするであろうに
それは…
それに比べれば可愛い代物であろ？
そーゆー問題じゃなくて！
バタン
なんかもうこないだから大事なモノをガンガン無くしてる気がするのよ！
先っぽから出すのがそれほど衝撃か？
先っぽ言うなぁ！
ミズキ！早く来な！


いいかい
始めるよ
いつでも
いいぞい！
？
？
ミズキ
うん…
ええと…
……許す


ギョッ
ぬ……!


ギャアアア
おのれ化性めが！
待ちな！
ミズキ！
ぷはっ！
あいたっ
足掻いてもムダだとわかったか？
いたた…


ぬしはもう虜の身なのだ
思い知ったであろ
ゴゴゴ
まあ吾とて他人事ではないのだが
ウー
手荒なこたたしないから安心しとくれ
ちょっと話が聞きたいだけさね


まず――
なんでミズキを襲ったんだい
アンタに何かしたのかい？
こやつになにかしたのか？
してないわよ！
まいったね何語だい？
うむ…このような有様でな
そうか…御祖母殿にもわからぬか…
吾が問うて名乗ったのだしこちらの言う事はわかっておるようなのだが…

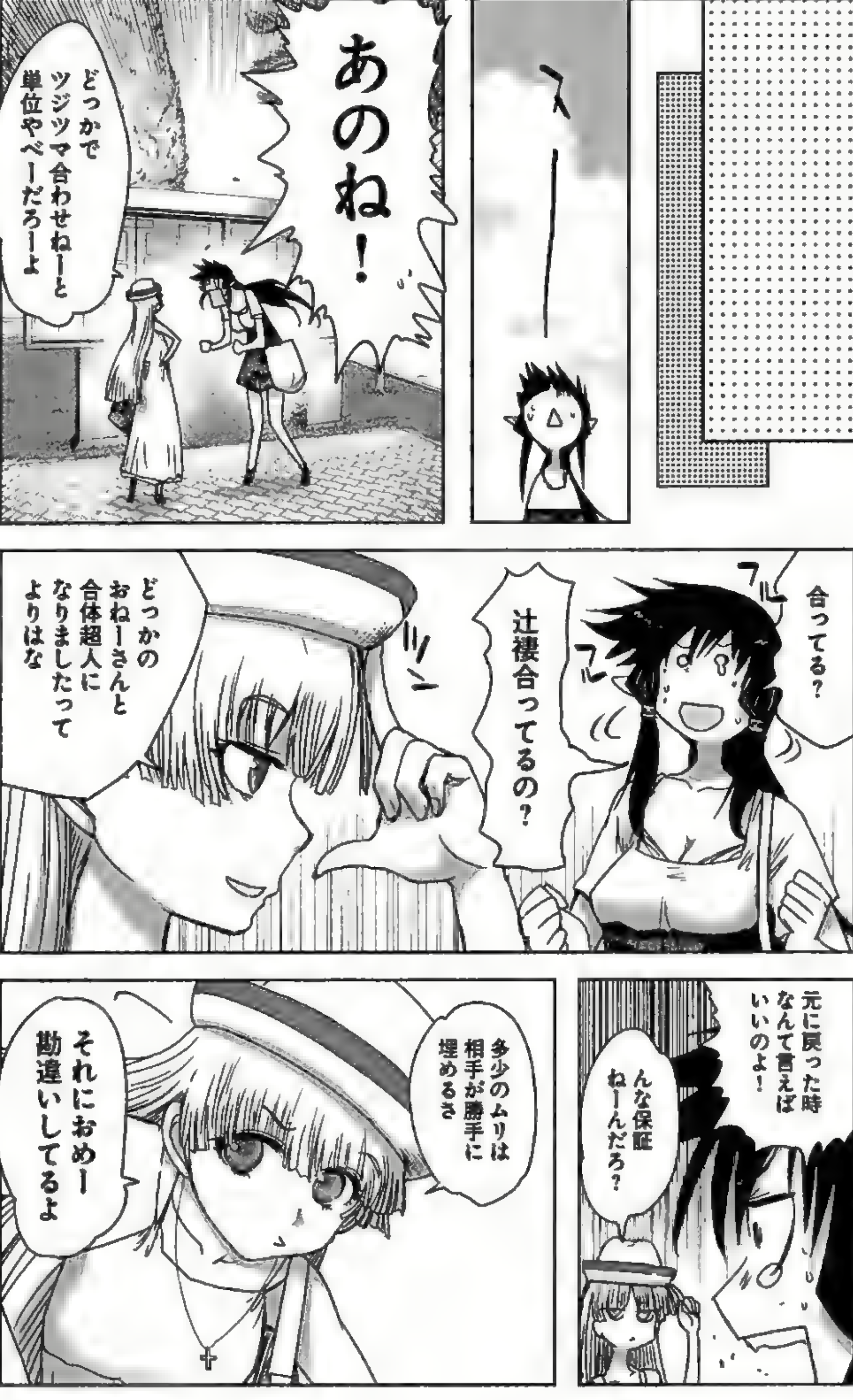

こりゃ今んとこ どうしようも ないね…
まあ当面の 脅威は去ったと 思って いいんだろうが…
いやいや いやいや いやいや!
去ってない! 去ってないよ!
こんなの ぶら下がった まんまなんて 嫌ーーー!
パオー
そんなに 嫌がらなくても
意外と面白い オモチャだよ?
スザク! どうにか なんないの
ミズキ殿が 喰うたモノの せいなのだから 仕方なかろう
いいじゃん
喰うたというか 取り込んだと いうか……
色々と問題が ありすぎだ…
まあ順番に 紐解くしか なかろうが…
ミズキ殿 ……後 祖父母殿に 伺いたい事がある
?


ミズキ殿の出自について…
やっと出席できる…
ヒソ
ヒソ
ヒソ
あ…
あのー
?
ピク
・・・・宮森さん?


宮森さんなの？
え？
え？あの…
宮森さんの声だわ！
本当なのね!?
ばばばば
バレてる？
まさか…松川！
口の軽い御仁には見えなんだがのう
でも他に…
宮森さん！


学校休んで全身整形したって本当だったのね！
ザワヒソ ザワヒソ
どうしてそんな思い切った事…
そこまで思い詰める程ひどくは…
ザワヒソ
ザワヒソ
確かに地味だったけど…
「整形」？
チク
チク
じろ
じろ
じろじろ
じろ


……病院……
おお…
へ……
病院どこ？
いくらかかった？
はいい？
この短期間で……
あのっ
どういう…
この出来…
胸だけでも…
TV番組の企画で世界中の名医によってたかっていじられたらしいぜ！
松川！
はよーっーす
カタぁついたんだな？


あのね！
どっかでツジツマ合わせねーと単位やべーだろーよ
合ってる？
辻褄合ってるの？
どっかのおねーさんと合体超人になりましたってよりはな
元に戻った時なんて言えばいいのよ！
んな保証ねーんだろ？
多少のムリは相手が勝手に埋めるさ
それにおめー勘違いしてるよ


難しいのは
ミズキ自身の
本人証明の方
なんだぜ？
早めに周囲を
ねじ伏せないと
ほんとに赤の他人に
されちまうぞ
元のおめーを
消したくないだろ？
ミズキ…
なのか？
大町…
お
大町…
はよーーす
あの…
事情は
話してあんよ
ここでは
なんだな


ええと…
ミズキ…
な…
なに?
スザクさんに
変わってみて
もらえないか?
よいのか?
……うん


お初に
お目にかかる
スザクと
申す
成る程
ゴク…
あの…大町
ごめん…
だました事…
大町…
大丈夫?
うむ
待っててくれ
頭の中の
世界の定義を
書き換えてるんだ
え?



私は見たものしか信じない
更新
ムン
完了
私が自分を正気だと信じる限りそれが私の世界だ
ふむ割り切った世界観だの
そして…私は君に謝罪しなくてはならない
何を？
その…君が大変なのは承知の上でだが
ジリ
私はとても…「面白い」と感じている
正直興味津々だ
あ？


ユーヅーきかねーな大町は
でけーから
そーゆーこた思っててもオモチャにしにくくなんだろが黙ってろよ
オモチャではなく私は面白いと——
ピキ
あ…
あのね！大変だったたんだから！
怖かったり襲われたりわけわかんないし！
もー
ほうほう
おう言っちまえ言っちまえ
昨日だってヘンなのとたたかって——
はーう
マジで！聞かせろよ！
……
やれ…くすぐったいのう
ミズキの出自について……？



不思議に思うておったのだが…
祖父母殿らは御姉弟とのこと
ミズキ殿はどなたの直系にあたるのだ
……気付いているようだね…
確かにアタシらとミズキに血のつながりはないよ
ミズキは赤ん坊の頃アタシらが施設から引き取った子さ
書類上ではアタシの娘ってことになってる
ワシがオシメをかえたんじゃあ!
ではご両親については——
不明なんだとさ
……


このこた
ミズキにも
話してある
…うん
まあ
それだけの
ことさ
血縁なんざ
関係ない
ミズキは
アタシたちの
孫なんだよ
ワシがオシメを
かえたんじゃあ！
………



成る程…
相分かった
ミズキ殿の前では——
聞くな…と
何？新しいワザ増えたって？
また合体かよ
生えたというのはいわゆるあれなのか？
機能は？
うお！見てぇ！
スザク！こんなことまでバラすことないじゃない！
ううむ…
内緒話ができぬというのは不便なものだな
第十一話／完


その日 あたし…宮森水城は――
一度死んだ
いや…殺された
そしてすぐに生き返った…
いや…生き返らされた
すぐにまた殺されそうになった
いや…喰われそうになった


あたしは
なんだかわからないものになった
消えそうになった
また喰われそうになった
喰い返した
そして——

第十二話
感じるひと




かふぁ
おはよう
ミズキ殿
はふ
百年分の憂鬱を
塗り込めたかの如き
うなり声だの
ガゴンッ
ガチャ
ゴゴゴ
まったく
朝からなんぞ…
ゴッ
ガチャ
ガタッ


こんなもの・・!
ジャキ
待て待て待て
ミズキ殿?
ちょん切っちゃえば
いいんじゃない?
何をだ?
落ち着け
ミズキ殿
何をしようとしておるのかは知らぬが
フクウが尋常でない
怯え方をしておるし
吾も嫌な予感しか
だって!


ゴゴゴゴ
なるほど
ははあ…
ホッ
怒張した状態の男根を見るのは初めてであったか
生娘…
怒張とか…言うな！うるさい！
ええと…そうさな…
むむむ
流石にあの状態は情を交わす時くらいしか目にはせぬわな
サイズ…変わりすぎ…
そういう・・ものぞ
ううッ


まあ気にするな
ミズキ殿
殿御は起き抜けに特に淫靡な理由なく怒張するものなのだ
ぽん
特にミズキ殿が淫乱なわけでも異常なわけでも——
お
……こんなのが生えてる時点で異常なのよ!
やっぱりちょん切っちゃえ!
きゃいっ
最近反省しました
ちょっと流されすぎ
もっと危機感を持たなくちゃ…
——そういえば


あたし最近…夜中に起き出す事無いよね
飢えておらぬからであろう
フクウを取り込んだからの
こやつを食いつぶすまでは保つであろ
一本や二本生えたところで悪い事ばかりではないではないか
プイ
……
…わかってるこれって問題の先送りだ
次に飢えたら…
あたしもう…
他人の時を食べるなんて…できないかも…
別にかまわぬのではないか？
へ？
でも食べなくちゃ消えちゃうんでしょ？
………



もしや自覚が無いのか？
呆れてものも言えぬ…
なによ…
大変なのはちゃんとわかってるわよ
………
ま どのみちしばらく心配は要らぬのだ
そりゃそうだけど まだ6時か…どうしようかな
カタン
にゅる
おはようであるますー
カマド
あ ごめん 起こしちゃった？
早起きでありますのでございますねー
いやちょっと…
スル


かまわなかったり
しますれば〜
早めに ご飯に
するでございますか〜?
テレ
?
ポッ


ズルッ
だらしないカッコで家の中歩かないで！
ドカッ
はひん
ひどい…何を苛ついておるのだ
なんでもない！
違う…
違うから！
二度寝！
むぅ
ガバッ
やれ……
んで遅刻かよ
ケタケタケタ


よかったな 試験範囲の発表 間に合って
出席扱いに してもらえ なかった…
日数マズイのに…
終了10分前では 当然だろう
で 元に戻る 手がかりって 見つかったのか?
全然
大変だなー ばーちゃん達
あたしは?
おめーは それで 助かったん だろうがよ
まあそう 追い詰めるな 松川
あ そーだ
あたし こないだ 時を喰われたり 戻されたり したじゃん?
あ…うん ごめん!
松川も 珍しい体験を したものだ
軽い後遺症が あってよ


だ…
大丈夫？
このへんにさー
松川 人通りの有る場所でどうかと思う
見えやしねーよ いーから聞けよ
ドキ ドキ
ここに中坊の頃 クギの出っ張りで 5針縫った傷跡 あったんだけどさ
キレーさっぱり無くなってんの
うれしー 後遺症♪


ダカマチ
大町見たことあるよな
けっこーグロいの
ガバッ
ザワッ
ふむ…確かに…消えている
ほう……
そーゆーのは再現されないんだな
ドクン ドクン
記憶に欠落はないんだな?
わかんね 私 忘れっぽいし
しかし何か理屈があるのかな
どーしたミズキ
気にしてんのか? いーことあったって言ってんだよ
けっこー気にしてたんだぜ このキズ跡
これでビキニもオッケーだ
あっ あたし…
ちょっとトイレ!
ダッ
おーガマンは毒だぜ!



むう
興味深い…
ハァッ
ハァッ
しかし
どうした
ミズキ殿？
ハァ
ハァ
ハァッ
？
ポン
ああ
欲情したのか
違うーー！
松川殿や大町殿は
昂ぶるに値する
女性だと思うが？
そういう意味じゃ
なくて！
なんか
違うの！


なんだか別の感じ方が混じってる…
頭の中に違う衝動っていうか…とらえ方ができてる…
多分男のひとのとらえ方ってこうなんだ…
ふむ……
ミズキ殿が吾の膂力や感覚を得たように男性としての感覚も身につけた可能性はあるのう
ただまあフクウのせいではないわな
友達にこんな感覚…
やだ……
気持ち悪い…
学友らに失礼であろ
自分が気持ち悪いの！
情けない……！
こんなの…今度また無意識になったらあたし松川たちになにするかわからないじゃない！
女としてまこと珍しい体験にはなるであろ



こんなの……
いら・な・い・・！
そんなの嫌！こんなあたしいやだ！
はうっ？……
なにっ？……今の…
ハァ ハァ ハァ…
また大きくなってる！もーイヤッ
ひっ？
これって動くの!?
いやそういう風にはないない
えええ


ビクッ
ひ!……
……?
ニュッ


まさか……
フクウか？
！
やっ
暴れないで！……
やんっ
ゴンゴン
ひうっ
あ…ちょっと！
いったい何が！……
逃げた…？
？
？
いや……



?
ポテ
どうなってるの?
おそらくミズキ殿が男性部分を強く拒絶したせいであろうな
フクウのみ切り離した…
え…ていう事は……!
スザクも切り離せるんじゃないの?
元に戻れる?…
いや……
……切り離さずに独立させおった
…熟々器用なことだ

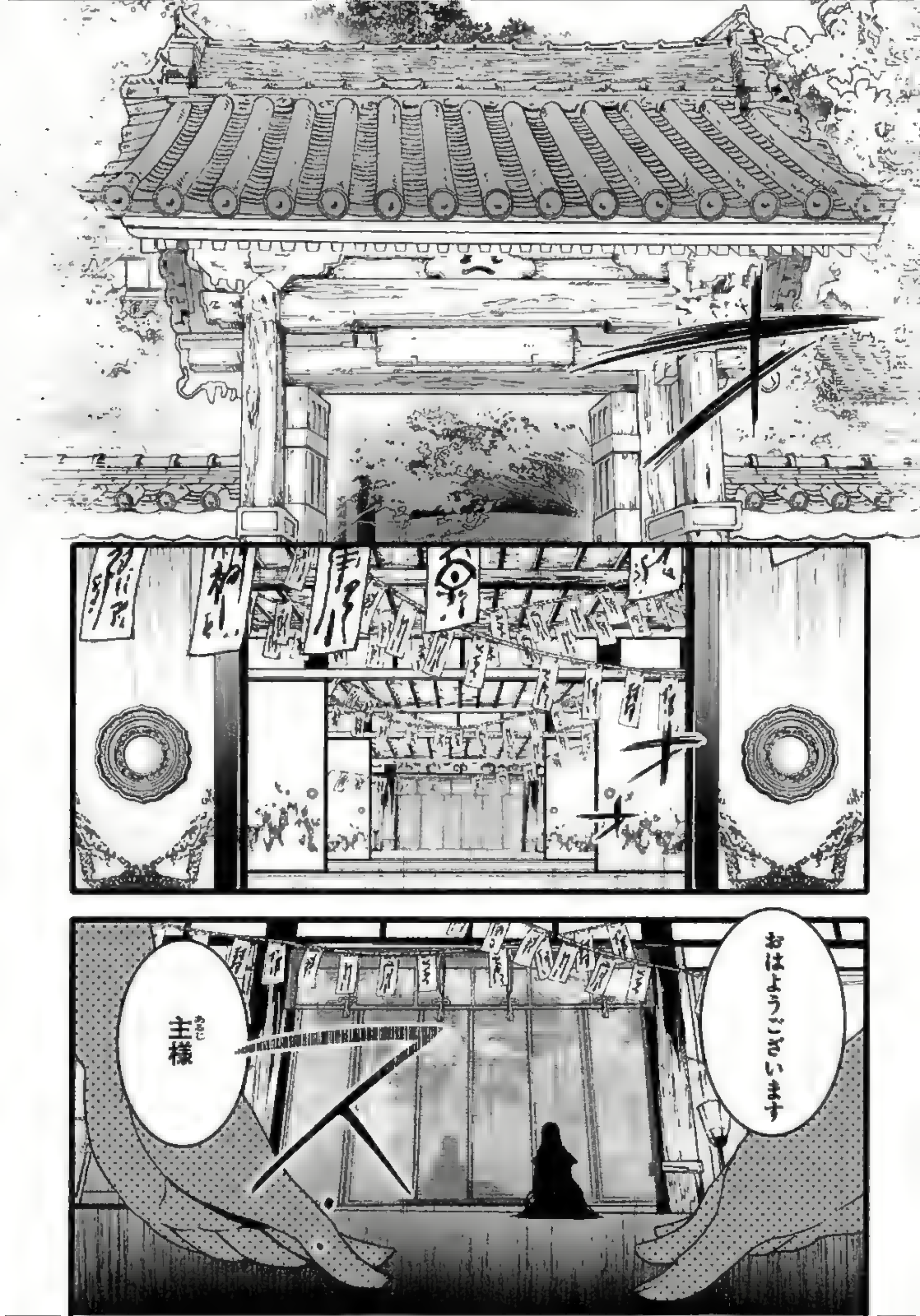

…？
わかんない
あ…
ミズキ殿の体からははじき出されたが…繋がってはいるようだ
なれば聞こえるであろうフクウ
ぬしは未だミズキ殿の一部なのだ
逃げられぬよ
無い！
無い！
とりあえずなんでもいい！
取れた――！
無邪気に残酷な事を…
哀れな姿よ…
さすがに吾もぞっとせぬ



で…
この子…
フクウだっけ?
どうしよう
先程見たとおり
ミズキ殿の
側から離れる事は
できぬようだな
連れ歩くしか
なかろう
えー
ペット禁止のとことか
どうするの?
吾はこやつが
少々哀れに
なってきた…
ガーン
周りをうろつくのが
嫌ならば元のとおり
また取り込めば
よいのではないか?
フクウも
この姿よりは
マシであろ
コク
コク
また生えるのは
嫌!
…………
好きにしろ


おーー♪
かっわいーー
はーー
フェレット？
いや…
珍しい子だな
チタ
チタ
チタ
ウ○コ長いと
思ってたら
どーしたんだ
こいつ
いや…
ええと…
P2にでも行ってたのかよ
人懐っこいな
こいつ♪
なんて
説明したら
いいやら…


ゴゴゴ
……考えてみたら…
それのもとって…
ゴゴゴゴ
ちゅー
んーっ♥
かたちとか
大きさとか…
むむ
松川 野良は不衛生だぞ
あ じゃあ お前は触んなよ！
キャイ キャイ
耳のつけねをだな
ホヘ
言い出しにくい……
好きなくせに
第十二話／完
その後事情を説明して壮絶にイジられました
でも取れたからいいや
流されてないもん


おはようございます
主様


第十三話
かざめるひと
――「宮の杜（ミヤノモリ）」は・
どうなっておる・・


申し訳ございません
手配した人間共が上手く立ち回っておらぬようで
面倒じゃのう…結界さえ無ければ人間など頼らずに済むものを…
その事ですがお許しを請わねばならない事が…
主様のお休み中――
2名の「夜叉」が結界内に侵入いたしました
なんだと…
ユラ…


何者じゃ
流れ夜叉のようで…
出自は不明でございます
「夜叉」が結界に…？
呼ばれたと申すか…
火急の事態と判断し……
勝手ながら人間に手を引かせ「不空」を差し向けました
よい妥当な判断じゃ
して？
結界にも変化はなく不空の気配も消え…


おそらくは…
喰われたか…
処罰はいかようにも
判断は妥当と申した
ようやく探し当てたのじゃ
邪魔をするのがそこいらの木っ端どもなら不愉快なだけじゃが
面白い 不空ほどの「夜叉」をな…
おーい「フク」



フク
どうしたフク
食わんのか
遠慮せんでいいんじゃぞ?
高いんじゃが
NATURAL FOOD
なぜ泣く
……
カッ
カッ


イタチをペットにするとは時代も変わったもんじゃ
農家の敵じゃったが
武蔵殿には事情を話さぬのか？
面倒くさくって…
さわぐし
詳しく説明するの恥ずかしいし…
ミズキ殿のその物事を先延ばしにする性分をどうにか
スザクさんや
ミサカ殿何か？
わっ
……ありゃあ大丈夫なのかい？
さて…
どうやらミズキ殿が許す範囲にしか行けぬようであるし
おそらくミズキ殿が望めば元の状態に戻れよう
絶っっ対イヤ！
まあ逃げられはせぬだろうが…
なはひいい〜！


どうしたのッ……て
む
あーーっ！
わひいい〜
食べられておられてますなれ〜
めッ！
ビジュアルめにイヤ！
性質は変わっておらぬようだの
はひ
なんてことすんの！
まあ待てミズキ殿


フクウよ おぬし… 腹が減っているのか？
…コク
そうか… やむを得ぬな
しかし 今後無断で時を喰らうのは やめよ
その代わり 時折吾らの時を分けてやろう
ちょっと…
仕方なかろう 普通の食い物ではたしにしかならぬのだ
嫌ならこやつを再び喰らえばよい
う…
フウ
その子を こうしたのは ミズキなんだね？
このような方法を 吾は知らぬし…
あ
其もそれ以前に このような発想が無い
吾も永く生きたが 今更このような初めてづくしに出合おうとは 思わなんだわ
………


外部の情報を集めてる間ウチの資料を見直してたんだけどひっかかるモノを見つけてね
何かわかったの？
アタシの親父の小遣い帳の日記めいた走り書きにあったんだが——
「ウチの先祖はしきを使ってお上に仕えてたんだ」って説教されたんだと
親父の母親…あたしの祖母に
ミズキの…ひいひいおばあさんってこったね
高祖母っていうんだよ
教科書にのってた
アタシが生まれる前に死んでるからよく知らないんだけどね…
多分…ウチが神社だった頃の最後の代だね
「しき」ってのは昔陰陽師なんかが人でない化け物を操ってたって言われてる——
いわゆる「式神」の事じゃないかと思うんだ
式神？


フツーに解釈すりゃあ誇張された言い伝えだろうさ
「人でないもの」っていったって平安時代の貴族目線からすりゃ自分たち以外は「人」じゃあなかったってだけの事なんだろうが…
・・・この有様を見てひっかかったのさ
化け物を操る…
成程…興味深…
あーっ
もうこんな時間!
ごめん!続きは帰ってからね!
このままだと前期試験がマズいの!
ハァ
おおっと気をつけいッ!!
やれやれ…



頼むから
大人しくしてて
フクー
もう…
おかげで
電車はまだしも
ファミレスとか
入れないじゃない
離れられんのだし
仕方なかろう
それに
名前くらい
普通に呼んで
やれ
呼びにくいん
だもん


しかし
先程の話……
成る程のう
吾らのようなものが
昔から他に
いたのならば……
どうした
ミズキ殿？
信じらんない！
信じらんない！
チカン…
ん？


ヌル
よくはわからぬが…
不愉快ならばやめさせればよかろう
怖い…
怖い…
意味わかんない…
…相変わらず意気地の無い…
吾は怖いという方が意味がわからぬ
五指を一息に粉砕してやるくらいの力はあるだろうに
なんなれば吾が——
人前でダメ！
生娘はややこしいのう
いままでこのような経験はなかったのか？
………


なかった…
考えたらハラ立ってきた
何重にも
ゴゴゴ
よくわからぬがその意気だ
でも怖い…
気持ち悪い…
誰だか何されるかわかんないって
もう最低!
どうにかして!
なんだこの重圧は…
それに何も見えぬ!聞こえぬ!
何が起こっている…


パキュ？
ゴソ
ギュッ



イヤだっ
いやっ
痛たッ
何かに噛まれッ…
ズ ズ ズ ズ
どうなっておる…
…～
ポヘ～～


驚いたのう
もしや…ぬしゃあ…
不空かえ？
なんと変わり果てたものじゃ
思ったよりも恐ろしい相手のようじゃのう
じゃが生きておったのならば幸いじゃ
ぬしに命じる事がある
あれ…
チカンいなくなった？
ミズキ殿！
？


何をした？
吾は完全に封じられ――
あたしは何も…
ポテ
ピッ
フク？
あんたなんで外に――
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
そこでなんでおめーの方が次の駅で降りちまうかなー


周りの人たちの目が痛くて…
ウッ…
おかげで遅刻していれば世話はない
ミズキと一緒に進級できないのは寂しいなー
ゾクッ
やめて…マジシャレになんなくなってきたし
フクのせいで…
んだよ人生初チカンを撃退してくれたんだろ?
よくやった
アイスをあげよう
ンなんだからスーちゃんにヘタレ呼ばわりされんだ
………
どうしたの? スザク
ん? あ いや その通りだの
ひどい…
チカンなんざ安全ピンでよ―
モム モムーモム
ゴゴゴ
不空に命ずる―
結界の要を探すのじゃ

第十三話／完


トトトトッ
コト
コワッ
ご飯であるしませ〜
ケパーン
ケパーン


第十四話
傍にいるひと




ハァ
ハァ
カシ
カシ
カシ
スパ
はう
メシの時まで鬱陶しいんだよちゃんと食えっつーの！
だって〜



まったく行儀が悪いの
食事の暇でどうなるものでもなかろう
スザクが言うな!
お
脳内会話
ちゃんと食わないとアタマ回んねーぞ
あんましカンケーないんだよね…
だって……
欠席が多かったから平常点がマズいの!
他学部聴講は試験が無いからレポートと平常点命なのに
せめてテスト科目は落とさないようにしなくちゃ…
おおお
だからフォローしてやってんじゃんよ
欠席4回以上は不可だね
試験優で
そこをなんとか…
ははあ
上級生から仕入れた前年度の試験問題やらあたしらのノートやらレポートの資料やら
ほんとに重ね重ね…
どーやって貸し返してもらおっかなーン
フフフ
私は――
モク
モク
モク
モク


カマドさんの
ご飯で充分かも…
ホウ…
甘ぇよ
大町
ミズキなんも
してねえじゃん
あいく
生まれてきて
すんません
んでもマジ
ンまいよな
カマたんのメシ
お金になる
味だと思う
あれ
嬉しやれ
たんと
食べるで
ありませ
……「カマたん」？
おー♪
君も
食べるかい？
いかぁん！
カッ


ダメじゃダメじゃ
タマネギが入っとるじゃろ！
タマネギやチョコレートは毒だと書いてあったぞい！
わざわざ本まで買ってる
そやつには専用の――
ムサ爺事情知らねぇの？
しょーがねーな
この後回し体質はなんとかならんかの
ムサシさん
なんじゃ
グイ
イヤイヤ
グイ
この子はシロフクイタチという特殊な雑食種なのです
人間と同じモノを与えないとかえってお腹を壊しますよ？
ド
ほうッ？
そうじゃったか…
本に載っとらんかったがのう
ホ…
さすが大学生じゃミズキも見習えい！
ウム！
アイツ真顔で言うから説得力あるよなもっともらしー
うむ見習え
ポン


それじゃあ ミズキ お互いに試験を 頑張ろう
…うん ほんとに ありがと
カマたん メシ 美味かったぜ
またおあがりに 来てませれー
みんなの分まで ありがとね カマドさん
ガラ
なんので ございまして♪
さあ!
ここまで してもらって 単位取らない わけには!
浮き世は 難儀だの
おい
Z Z Z
ハッ


眠らないで済むとかアタマ良くなるとか何か特典無いのこの体！
どこから夢!?
ほんの数分だ
ミズキ殿次第かもしれぬが
姫様ぁ
バタン
ぴゃ♪
臭うのでございますあれ♪
そうか
だが今宵は手が放せぬようだ
はうううう
好きにしやれ
あいであるです
トタ
トントントン
あうあう
は〜
う…
ちょっと待って？
ガタ
気にするな
ミズキ殿には現状関わり無きことだ



そんなわけにはいかないわよ！
さっきの誰かが死ぬって事でしょう!?
試験からの逃避ではないのか？
やなこと言うなあ
ねえカマドさんってこないだ自殺したひと食べてたよね
どれくらいの頻度でお腹が減るの？
さて…吾自身の事ならばわかるが…
ここ最近の諸々のことで——
吾らが同じものであるという前提がさっぱり揺らいでしもうた
確かめた事があるでなし…
……



カマドさんって…
料理好きだよね
作るも食うもこだわるのう
でもたしにはならないのよね…
まあの
やっぱりこっちの方のお腹が空くんだ…
当然だ
吾やフクウとは状態が違う
？
何か臭い…
いた！


モ
モ
モ
モ
こんなヤブに
なんで車──
うん…そーいや
この山
名所だって
聞いた事ある
…何の名所だ
排気ガス
臭いと
思ったら…
カマ──
待て
ミズキ殿
吾らも各々一人での
喰らい様を見ることは
あまりなくての
カマドの
やりようを
見てみたい
でも…
というか…
カマドが人を
喰らうとして…
ミズキ殿は
止めるつもりか?


それは…
あたしは……
あッ…
げぷッ…



何が…
いったい…
生き返った…
死んでたんだ…
自殺して…
うわあっ 誰だ！
！
クピー
人肌で寝てしもうておる
困った癖だな あれは…
ていうか 一人の時って 致命的じゃない？


ガッ
？
逃げちゃった…
やれ 勿体ない
カマドさんらしいというか…
連れて帰ろっか
はっ
待て
あーあ ゾっとしねえな
ちゃんと仕上がってるか確認して通報しねえとよ
足跡とか残すなよ


ああ？
なんだこりゃあ！
うーん
あの野郎怖じ気づきやがったな！
なんだこの女は！
何だこやつらは
これってまさか……犯罪？
たぶん保険金目当てかなにかの…
えーと
えーと
おい！起きろ
野郎の知り合いか？
アイツぁどこに行った！
どういうことだ
自殺でも免責期間過ぎてれば保険はね…
ってそれどころじゃー
待て
カマドの心配はいらぬ
いやだから…


手を出すなら
なんでハダカなんだコイツ
和服？…
先程の答えを出してからにせい
はれ
たべものなので——
なんだコイツ薬でもキメてんのか??
カラダに聞いちまおうぜ！
すっげえいい女だ俺ガマンできね！
ああ…食べるなって…
それは——「死ね」っていうのと同じ事で——
いらっしゃいましてあれ
なんだぁ？
いつの間にか当たり前みたいに一緒に暮らしてた


人の時を喰う化け物・・・


綺麗で――
料理が好きで――
争いが嫌いで――
ちょっ！
死んだひとか
人殺し以外
食べないって
いうのは――
あの約定に
縛られておるのは
吾だけだ
カマドは
付き合うて
おるだけのこと
何にも
縛られてない――
スザク…
答えは
出たか？


保留で…
やれやれ…また後回しか
答えは――
同じ化け物に
返ってくる…
試験どころじゃないけど！
けど！
――そして試験結果
ギリセーフ
第十四話／完


ザワ
ザワ
ザワ
うむ
よい朝じゃな
フク
散歩の時は
裏庭のこの池に
気をつけるんじゃぞ
ハァァァ
フク
だめじゃ!


ここは不思議な池でのう
蚊も湧かんし
水草も生えん
昔ミズキが縁日で取った金魚を放したら
いつの間にかいなくなってしもうたり…
ミカサが役人に調べさせよったら
ただの真水と言われたんじゃが…
アテにはならん
飲まんほうがいい
それに昔…
この池の畔でな…
オギャア


ホギャア
ホギャア
オギャ
ザリ
いや…なんでもないわい
行くぞい
水飲み場ならあっちにあるんじゃ
ザワ
ザワ
――要を探せ
結界の要を
探せ


第十五話
水の中のひと

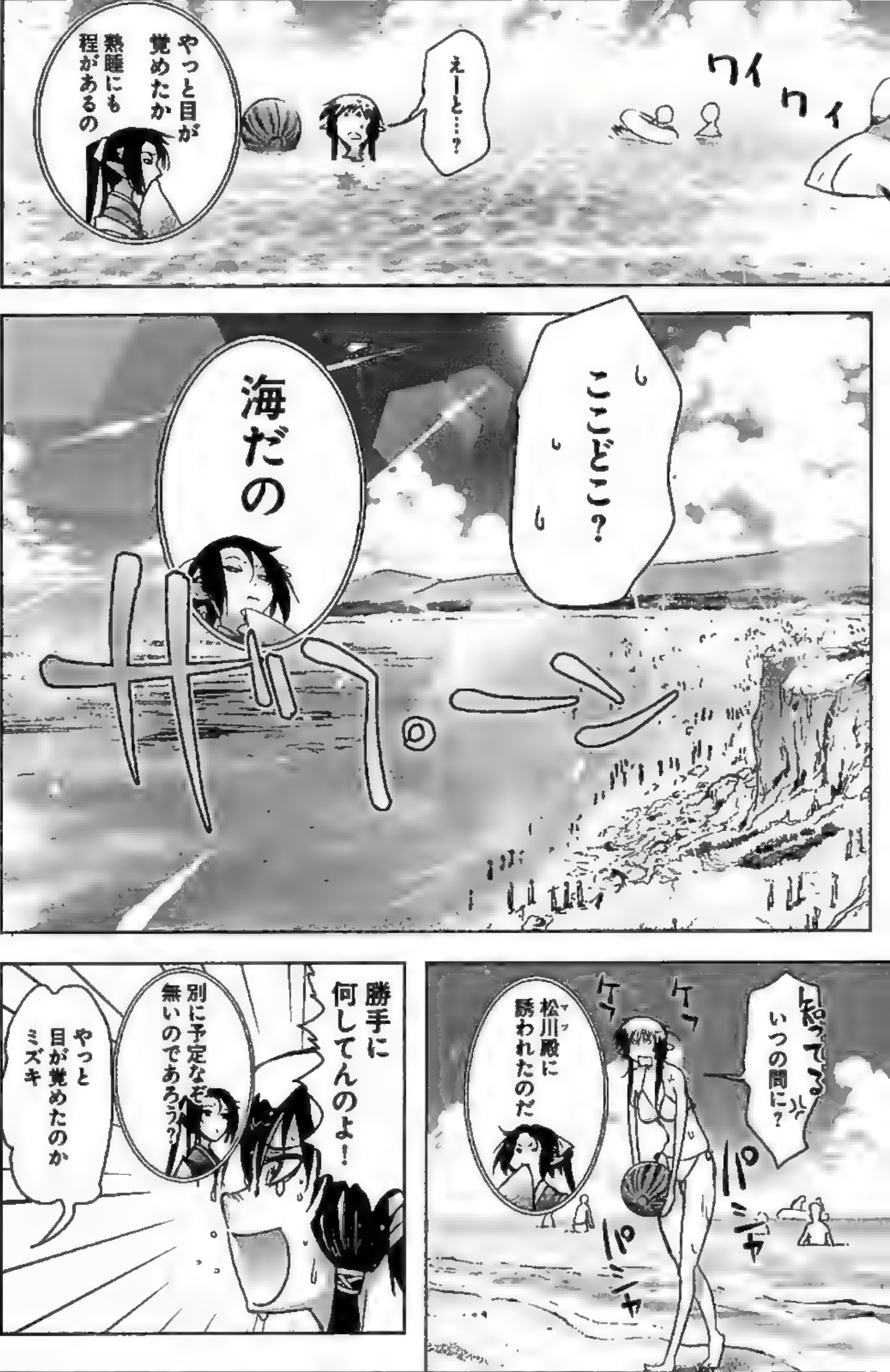

――ミズキです
ゴロン
前期試験が終わりました
夏休みです
スピー
テリリリリリーン
テリリリリリン
テリリリリリン


もし 誰か
此方は宮森ぞ
チャッ
わおう♪
その口調は
スーちゃんだな？
これは
松川殿
ミズキはー？
未だ就寝中だ
プアアン
ブォオ
へー
スーちゃん
自分で出て
これんの？
事情を知らぬ者が
周囲におらぬ場合は
いちいち許しを
得ずともよいと
許可を得ておる
電話に出る
妖怪かー
笑える
スペックだなー


して何用かの？
おうよ！あのな――
シャリ ーーン
なんだろ…
いっぱいひかりがある…
きれい…
――？
ゴポッ
ザ！


!?
?
?
なに？なに？
死ぬ——


ぽはぅッ！
ケホケホ
ぽぷ
ぱぷー
ぷー
えふえふ
ぱー
ぷー
ザザザァ…
外？
はへ？
？
いつまで寝ぼけてんだよっ
ポカッ


ワイワイ
えーと…？
やっと目が覚めたか熟睡にも程があるの
ここどこ？
海だの
ザッパーン
知ってる
いつの間に？
松川殿に誘われたのだ
パシャ
パシャ
ケケ
勝手に何してんのよ！
別に予定なぞ無いのであろう？
やっと目が覚めたのかミズキ


おはよう
寝ぼすけ
試験終わったからって
腑抜けてんじゃ
ねーぞ！
せめて
前の日に
言ってー
私も今朝
聞いた
ポイ
だって
約束だったしょー
感謝しろよ？
突発だったから
この程度で
すんだんだぜ？
約束？
この程度って…
何の話？
カシャッ


ワイ カシャッ
!
ビクッ
バッ
パっ パレオとか パーカーない?
貸し…
ダメだ
ワイ カシャッ
なんか 大学のひとが いっぱいいる!
なんで?
ノートや 過去問集めるのに 取り引きしたから
お、
ワイ ワイ ワイ



前期の単位と
引き替えだ
安かねーだろ？
へーえー
売ったんだ？
大体いつの間に
こんな水着…
似合うて
おるであろ
あたしが
見立てるって
約束で
カンパ集めたら
あっつー間に
買えたぜ
てなわけで
おめーには
堂々とする
義務がある
だが
隠す権利は
ねえ
ほれほれ
布少ない－－！
なんかスースー
……
オオオッ
ブルブル
ギギギ
サワ…
！
……
…すると
思ったら髪が…？
？？
うんあれは
びっくりした
スザクさんが
いきなり
素手でバッサリ
いくとは
なんか
いいもの見たって
カンジ
ジャッ
ズバーッ
おー
パチパチパチ


泳ぐには邪魔であろ？
安心せい元に戻すのは簡単だ
またフォローしにくい事を…
姐様ー
ドッバババ
キャー
ドパン
？
ピルルル


はーー♪
久々の水遊びは面白してありえますすな！
オオ
オオオオ
人前でムチャしないでよ！
姫様！おなかがすくであるでして♪
カマドさんまで…
ヒマそーだったし誘ってみた
ドドドドド
一人残すのも可哀想であろ
すげ…
いやいいけど…
「あね」って妹？
ゴゴゴゴ


?
ふっくら…
エクスタシー☆
ちょっと！なんてモン着せてるの
ヒトを選ぶ系の水着が違和感ねー
カマたん スゲー
オオオオ
カシャ
カシャ
カシャ
似合ってる
私も冒険が過ぎると思ったんだが
アレに清楚なヤツ着せてみろ手がつけらんねーぞ
ってカマドさんで思い出した！
フクは……


やだいキャッキャ
なにこの子
キャハハ
キャハハ
アーハハ
かわいい～
はれ
おいしそうで
ありまして
はいはい
はらほらはれ
はられ～
現金なものだ
オオオ
よかったなー
みんなあっちに
いったぜ
ゆっくり
できんじゃん
悔しいの？
はは・・・
ノリ
悪いなー
家で
クサってんより
マシだろ？
楽しめよ
皆 試験期間中は
勉強三昧だった
からな
息抜きは
必要だ
うん・・・
ザザァ



松川殿らの心づくしだ
楽しまねば失礼だぞ…
うん…
ミズキ殿 吾はもう少し泳ぎたい
さっきは水に入った途端にミズキ殿が目覚めたからの
残念ながら人前ではもう代われぬし
うん…
なんだまだ何か屈託があるのか
いや…
その…
ワイ
ワイ
あたし……
泳げないんだよね…
ザザァァァ


周囲に教えてくれる者はおらなんだのか?
ムサシお爺ちゃんにめいっぱい仕込まれたよ?
ではなぜ──
水への苦手意識をね!
なるほどの…
ふむ…良い機会だ
無意味な苦手意識なぞ無くしてしまえ
できればしてるって
小中高とどんだけ苦労したと…
ズゴゴゴ
最早何も言うまい…
ドプン
チャプチャプ


無意味だと言うたであろ 何故水の中がダメなのだ
溺れちゃうから…
何故溺れる
息が続かないからに決まってるじゃない
その鉢をなんだと思うておる
はあ?
息を止めてみやれ
ん…
まだ止めよ
まだまだ
いやいやいや
苦しいって!
本当に苦しいのか?
冷静に感じよ
何言ってんの?
呼吸という習慣を忘れてみやれ
習慣?


そんなこと言われても…
ピタ
息を止めっぱなしで平気なわけ――
ピタタター
苦しくない
気のせいぞ
ピタタタタ
タ～～
嘘・・・
そのまま――
水の中に行けばよかろう
トプン


綺麗……
でも…
ゴボッ
あれ？浮き輪だけ？
ミズキは？
スーちゃんついてっから大丈夫だろうけど



少し…
遠い——
じゃーねー♪
カマたんさーん
またねー
はーい
カマたん人気だなー
松川大町…
誘ってくれてありがと
今日は楽しかっ…


はぁ？
何言ってんだ？
やっと背景どもが帰ったんじゃねーか
日帰りではろくに遊べないだろう
展開！
ごぼん！
プスー
え？
泊まりに決まってんじゃん
水くんでこい！
うん…
いやあのいーんだけど…
アウトドア好き
本番はこれからだ フフ
お婆ちゃんたちにも何も……
安心せい書き置きは残して来た
言うておらなんだか？
初耳！
ア

第十五話／完


ピン
ポン
ピン
ポン
ふ‥

第十六話 変わるひと




昨晩は——


ガールズトークという名の一方的な尋問で人生を丸裸にされ
小5の時のセンセイー？
中2のときのセンパイー？
なんだそのありがちな優しくされたら片っ端からっぽい無難な恋バナは
で？何かあったのかよ
卒業式でボタンもらえなかった
うわッ甘酸っぱい以前
ダメだコイツ
無味無臭！
無味無臭・・
酷い事を言われていて尚且つそれが的を射ておるというのはわかる
んで酔っ払ったまま花火やらなんやら
おお
当たんないよーだ
ヒュン
ヒュン
シュ
バ
ジュ
バ
おーホントだ！すげエ！
ヤケ
まあ悩むヒマがなくて助かるけど


ザザァ
ザク
ザク…
イッチ！
ニイッ！
ブンッ
ブンッ
武蔵お爺ちゃん
おはよ
おう！
ヒュンッ
ヒュン
毎朝元気ね…
イチ！
ニィッ
?


フンッ
フンッ
おじいちゃ……
ザザァ…
コフォー
ポタ
ポタ
ペッタ
ペッタ
ペッタ
ペッタ


準備できてるよー
ムサシ！包丁貸しな！
包丁じゃないわい！
パチ
パチ
パチ
延寿の女の車に便乗したのさ
なんで？
いや なんでって方法の事じゃなくて
アグレッシブな書き置きのせいでムサシが心配してね
嫁入り前の娘がなんと破廉恥な！
スザク どんな書き置きしたのよ
マツ殿の誘い文句通りに書いただけだが？


マツ姉らと
ぎゃくなんしに
なにが「ぎゃくなんなん」じゃ
達筆であろ
まあこれで
来る方も
こんなところにいた
ち～す
あー
婆ちゃんたちた
朝食
一緒にどうだい
あざーす
いただきまーす
やりー♪
アハハ
ちがうって
だから
ほう
えー
はい？
ナンパ？
言ったっけそんな事
電話口で言っていたぞ
モク
モフ


確かにひっきりなしにされてたけどな
なんじゃとう!
対応に難があった
返答もせずに逃げ回るのはよくないと思う
だってなんて言えばいいかわかんないし
連れがいるんだって言えばいいだけじゃない
ね
ドキッ
?
孫の友人に秋波を送るんじゃないよ この見境無し!
ドキドキ
?
?
大町って反応するタイプだったんだ
危なっ
タイプ?
延寿お爺ちゃんってなんか一定のタイプを惹き寄せちゃうんだって
近づけないようにしないと
とにかく話にならなかったから安心してくれよ
途中からはカマドさんの方がよっぽど――
あれ?カマドさんは?
そういえば…
もの食べてるのに出てこないなんて
おおカマドなら――
行ってくるのであり
明け方何か嗅ぎつけたようだがミズキ殿も寝ていたので「好きにせい」と言うておいたが?
ちょっと待って?


嗅ぎつけたって例のアレでしょ?!
何の話だ?
カマドさん散歩に行ってたって
トイレ行ってくる!
そっちは林だぞ
アグレッシヴだなあ
おお
なんで行かせたの!
何故誤魔化す
そのへんの事はまだ話してないの!
ていうか絶対引くから!
このへんで事故死か殺人が起こったってことじゃない
まあの
そうそう人死になんか
誰か溺れたとか
放っておけ


でも！…
いちいち追うてどうする
止めるのかどうか答えは出ておらぬのだろう？
そうだけど…
それを止めろっていうのは…
死ねっていうのと同じ事で――
簡単に答えなんか…
ワイ
出せるわけない…
ワイ


ザッ!!
ザザッ
アイ〜ン
ワ
クスクス
あ
スゲー
ゲラゲラ
キャッ
キャア
キッ
ウフフ
キャア



スゲー
立場をとられた
古式泳法
おおむずかしい
元気・・・
スィー


ミャァ
ミャァー
ザプン…
てゆーか長いだろ散歩!
カマドさん帰って来なかったな…
道にでも迷ったのかな…
それはない
おーい
あやつは方向音痴ではあるが—
吾の匂いを覚えておるゆえ吾の場所が分からぬということはない筈だ
そうなんだ
…
じゃあスザクはカマドさんの居場所はわからないの?
分からぬ
スザクって意外と何もできなくない?
なんか自分の無能を棚に上げてるヤツがいんなー
ひでぇ


ふむ…ついつい気にもせなんだが確かに変だの
あやつが断りもなく帰りが遅い事はいままでなかった事だ
ええと…どういう…
合流できぬ状況にある可能性が高い
まさか…
カマドさんだよ？
忘れたのか
フクウを差し向けた相手の事もまだわかっておらぬのだぞ？
あ……！
カマドは弱くはないが争い事ができぬ襲われておったら手遅れかもしれぬな
そんな…
杞憂やもしれぬが可能性の話だ
ほっとくわけにもねー


ミカサ わかんない？
今はもう ムリだね
婆ーちゃん 昔はなんか できたのか？
通称 千里眼の ミカサ
人捜しとか モノ探し 百発百中 だったんだよ
昔の話さ
へー かっけー
昔はスゴいもの
やめな
…そういえば ミカサ殿は 巫女の筋と 言うておったな
ミズキ殿 何を考えた
なんでもない！


宮森の血筋は確かに…
この際それも有りやもしれぬな
ちょっと待ってスザク！
時を使うのもったいないって言ってたじゃない！
ハァ…
その件についてはほぼ問題ないのだが…事情はそのうち話そう
？
それに杞憂であればよいが…
よしんば敵の仕業だったとして今カマドを渡すのは得策ではない
ほんとにやるの？わかるとは限らないよ？
意外だの
ミズキ殿は嫌がるかと思うたが
あたしも…カマドさん嫌いじゃないもの
あと…
？



怖いモノ見たさ…
お婆ちゃん…
ミズキ
みんなでカマドさんを探した方がよくないかい？
ごめん
!?
ミカサ殿水着の分少々痛いやもしれぬ
ミズキ殿が脱がせるのは抵抗があるというのでな
ごめ～ん
スザクさんかい!?
まさか…！
ちょっとお待…！


なんだ
おお？
なんじゃ！
なにをしとるんじゃ！
へえ
思い切った
なあ
いたた…
ちょっと
痛かった…
大分面積が
大きくなった故
楽になったぞ


すごい…
改めてひとのを見るとシュールだなー
おっ…!!
……悪夢じゃ…
懐かしいなあ
まったく…


なんてこと すんだい！
あっ
お婆…、ちゃん？
何をそんなに驚愕しておるのだ
なんだ 昔の姿は 知らなんだのか
うん…そういえば「お婆ちゃん」になってからの写真しか
えーええ
……？
時の流れの無情さがどうした？
あしーっ！


いたい…
ぬう… 吾まで…
いたい、いたい。
まったく 人に断りもなく…!
アンタ達の リスクを増やして どうすんだい! ッたく
何だい この水着
説明は省くが 時の消費に関する 危機は現状 回避されておる
ばーちゃん びっじーん
ダイナマイッ
ほっといて
ミズキは お婆さんに 似なかったのだな
その辺りの 判断も加味しての 事だ
どうであろ
そういえば ミズキは どなたの直系の 孫なんですか?
誰だと 思う?
え〜と‥


出来るかどうか
保証できないってのに…
結構焦ってるって
こったね
まあ
なっちまったもんは
しょうがない…
ゴオ…
喝!


ザザァ…
木のぼう
ハァ
ハァ
いやホントに百発百中だったんだよ
海？
海だよな
いや それ以前に もっと…
恐いくらい じゃやった…


ある程度進んだら
コレを繰り返して
方向を修正してさ
ホントだって
いやあの
もう少し
なんていうか
いやでも
海だし……
だから
保証できないって
言っただろ?
迷うておっても
仕方がない
ミズキ殿
この方向へ
進んでみようぞ
フウ・・
他に手がかりも
ないしね
じゃちょっと
探してくる
スタ
おいミズキ!
なに?
なにって…
おまえカナヅチ
じゃろうが!
大丈夫…
ふ・・
あたしもう
絶対溺れなく
なったから
ザプッ
?


水中か…
吾はあまり得意ではなかったが…
カマドならば有利なはずだがな…
そーなんだ?
確かに泳ぐの上手だったけど
まあまだ何かあったと決まったわけではない
それにしてもどう探したもんだかなあ…

第十六話／完